

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	13-1																																					
PDCA	主要事業名	観光振興事業	部課名	市民経済部観光課	担当 内線	濱田 328																																					
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 1 単位施策： 観光 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 30,812 千円 会計 一般会計 歳出科目： 06.01.04.02.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																					
	事業概要等	事業概要： 半田市の観光資源「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を活用し、観光振興を図る。名鉄とタイアップしたいいかも半田キャンペーン推進事業や寿司にスロットをあてた食の観光推進事業、新美南吉生誕110年に合わせた観光PRのほか、インフルエンサーを活用した観光情報拡散促進事業を実施し、情報発信と誘客を強化する。																																									
		事業目的： 半田市の観光の魅力をより一層PRし、観光客の誘客や知名度を向上させるとともに、地域経済の活性化を図る。																																									
		事業内容： いいかも半田キャンペーン推進事業、食の観光推進事業、観光客回遊促進事業、新美南吉生誕110年観光PR事業、観光情報拡散促進事業ほか																																									
		問題点・課題等： 年齢層により情報収集の媒体が異なるため、様々なツールを活用し、効果的																																									
	予算額	主要事業とする理由																																									
	30,812 千円	集客イベント開催、観光プロモーション、飲食店等への日常的な回遊、食の観光推進など、様々な分野の観光振興施策を展開する事業であり、半田市の観光振興を推進する上で根本的かつ中核的な事業であるため。																																									
	財源内訳	得られる成果																																									
	市費 17,607 千円	観光客の増加や「歴史と文化のまち半田」の認知度向上による地域経済の活性化と半田市のイメージ向上を図ることができる。																																									
	国費 8,016 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">年間観光入込客数</td> <td>実績値</td> <td>787</td> <td>1,343</td> <td>—</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1,760</td> <td>1,027</td> <td>1,699</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	年間観光入込客数	実績値	787	1,343	—	千人	目標値	1,760	1,027	1,699	千人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値		
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																						
年間観光入込客数	実績値	787	1,343	—	千人																																						
	目標値	1,760	1,027	1,699	千人																																						
	実績値																																										
	目標値																																										
その他	実績値																																										
	目標値																																										
0 千円																																											
その他 5,189 千円																																											
D 実績得られた成果と	決算額	得られた成果				主要施策の成果報告書で活用																																					
	29,749 千円	既存のイベントや観光プロモーションに加えて、新たに旅行系インフルエンサーによるSNS観光情報発信を行い誘客を図った。SNS内で紹介した観光施設では来場者数が増加しており、SNS投稿の視聴回数も多く、半田市の知名度向上にも繋がった。																																									
	財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">年間観光入込客数</td> <td>実績値</td> <td>1,575</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1,699</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	年間観光入込客数	実績値	1,575	千人	目標値	1,699	千人																										
	成果指標		令和5年度	単位																																							
	年間観光入込客数	実績値	1,575	千人																																							
		目標値	1,699	千人																																							
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 半田市の観光資源を活用したプロモーションやイベント等を実施することで魅力発信と誘客を図るとともに、通年のいいかも半田キャンペーン等により回遊の促進や日常的な誘客を図った。また、今までのポスターやチラシなどによる広報に加えて、SNS広告の推進や旅行系インフルエンサーの活用により新たな客層の誘客に繋がり前年度の入込客数を上回った。一方で、雨天など自然的要因によりイベントの中止や縮小などがあり、入込客数は目標値を下回った。イベントによる誘客は知名度や魅力を発信する手段としては有効であるものの、天候に左右されることが多いため、目標値達成のためにはさらなる日常的な誘客が必要である。																																									
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 引き続き、デジタル社会の進展に沿った広報ツールの活用を推進するほか、本市に根付いた発酵・醸造文化を核としたプロモーションやガストロノミーリズムに取り組む。また、既存の観光資源の磨き上げや魅力の発信を行うとともに、観光施設だけでなく地域事業者とともにインバウンドも視野に入れた受け入れ態勢の強化を図る。																																									
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																					
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ー																																						
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更																																							
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																									

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用